

「男女共同参画の視点に立った地域の課題解決」のためのプログラムデザイン

【事業名】 STOP！介護離職！！ ～女性が生涯働き続けるための講座～

開催日時：土曜日 10：00～15：00

【趣旨】働く女性にとって、40代～50代は昇格などによる社会的責任が増える一方、家族（親）の介護が重なる時期でもある。現状では、家族の介護は主に女性が担っており、仕事と介護の両立が困難となり、やむを得ずキャリアを諦め離職する女性が多い。介護離職の原因としては、「仕事と介護の両立が難しい職場だった」、「介護により自身の健康を害した」のほか、「介護サービスについて知識がなかった」などの理由が挙げられる。介護離職後の女性の再就職は極めて困難であり、収入も断たれてしまうことから、高齢女性の貧困にもつながることが懸念される。介護に直面してもすぐに離職することなく、制度を利用しながら介護と仕事を両立できるよう知識を身につけ、継続就労を促す。

課題 社会的にも、役割分担意識やアンコンシャスバイアス（介護は女性がするもの・女性のほうが向いている）が根強く働いている。また、介護は育児と異なり、突発的で症例も一人一人違うことから予測が立てづらく、育児休暇のように介護休暇を計画的に取得することは困難であり、離職の要因となっている。その結果、高齢女性の貧困化に拍車をかけ、「4名に1人は貧困状況」という深刻な問題となっている。

目的 男女共同参画の視点から介護と仕事について考えてもらい、社会的資源や介護休暇制度などの知識を学び、継続就労に繋げ女性の経済的自立を促す。

対象 40代～50代の女性、パーティ会場、定員30名

連携先 地域包括（ケアマネージャー）、社会労務士など

